

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

株式会社 **アーレスティ**

証券コード：5852

第**96**期 期末
株主通信

2016年4月1日▶2017年3月31日



株主の皆様へ

第96期と1618中期経営方針の振り返り 自動車産業の変化への当社の対応について

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。
当社グループの現状と今後の展望について、社長の高橋がお答えします。
なお、第96期の業績については3ページ以下に記載のとおりです。

Q1 第96期の振り返りをお聞かせください。

当連結会計年度の業績についてセグメント別にご説明いたします。

私たちの国内における生産量は増加しましたが、円高を背景としたアルミ地金市況の下落により売上高は減少となりました。栃木工場では、主要顧客の需要増に対応して増設した大型鋳造機2台の稼働を開始しました。国内の大型ダイカスト部品の需要は引き続き旺盛であり、大型鋳造機を持つ東海工場も繁忙な状況が継続しております。

北米では、売上高はほぼ横ばいに推移しており、収益面では安定した生産性を背景にメキシコ工場が良化しました。アメリカ工場は、2014年度から生産性の改善に取り組んでおりますが、期待した収益を確保するまでには至らず、引き続き改善に鋭意取り組んで参ります。

アジアでは、中国において2年余り低迷していた広州工場の需要が回復したことに加え合肥工場も順調に生産を伸ばすことができた結果、収益面でも大きく改善しました。創業以来苦戦しておりましたインドも徐々にではありますが改善しております。

アルミ合金地金を生産している熊谷工場においては、市況価格が低下しましたが、国内需要の増加に伴う生産量の増加と生産性の改善により、売上高・利益とも期初の見通しを上回りました。

クリーンルームやデータセンター向けのアルミ製フリーアクセスフロアの生産・販売・施工を行っている完成品事業は、主に合肥工場にて生産を行い国内と中国にて営業活動を行っております。国内アルミ製フリーアクセスフロアのシェア拡大と中国においても大型物件の受注ができたこともあり、グループ全体の収益にも貢献しました。

Q2 スタートした1618中期経営方針の成果についてお聞かせください。

1618中期経営方針がスタートしました。10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」を掲げ、「1618方針」では品質、生産性を中心に改善活動を進めております。生産性の向上や、品質面では年々クレーム件数の減少に繋がっておりますが、工場間で改善スピードにバラツキがあります。全工場にて水準の改善に繋がるよう国内は2011年度から四半期ごとに、海外工場においては2016年度から地区別に改善活動の評価会を開催し、同一地域内で良い結果を共有するなど切磋琢磨しております。全工場で同一生産性と品質の確保のためのインフ

ラ整備なども推進しており、成果も出てきました。更にグローバルで標準化、人材育成を計画的に進めております。

Q3 自動車産業の変化への当社の対応についてお聞かせください。

全世界の自動車需要は新興国を中心に成長が続くと予測されています。一方で環境規制が各国・地域で強化されていくため、ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車が増加し、更には電気自動車や燃料電池車という全く内燃機関を使わない車へのシフトも予測されています。電池の蓄電能力や大きさと価格の改善、充電時間や充電インフラの整備、燃料電池車では価格に加えて水素ステーションのインフラ整備など課題は多く、当面は内燃機関が主流で推移すると考えています。しかし、長期的にはエネルギーの電気シフトは必至と考えられます。私たちは、軽量でリサイクル性に優れた設計自由度や生産性に優れたアルミダイカストが、車の軽量化で貢献できると考えています。エンジンやトランスミッション以外の、車体や足回りなどの軽量化ニーズに応えるために、今年1月から専門の部隊を発足し営業活動と市場調査を開始いたしました。各社の求める軽量化対象部品やその要求機能を理解し、それらに対応するものづくり力の強化に繋げて将来の需要構造変化への準備を進めております。

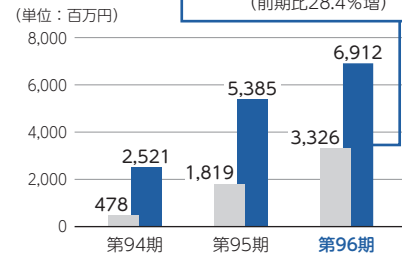
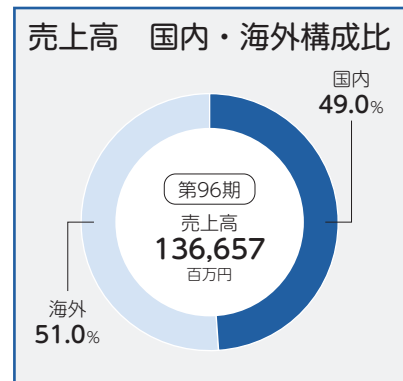
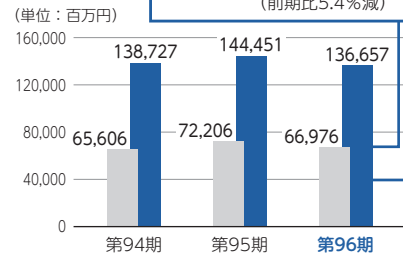
皆様のご支援を引き続き賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長

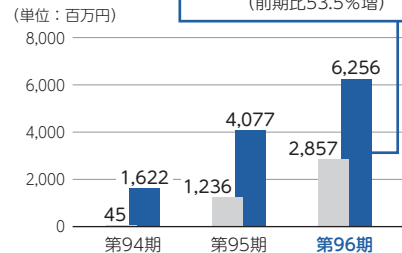
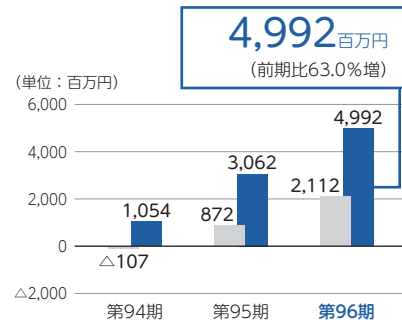
高橋 新

2017年6月

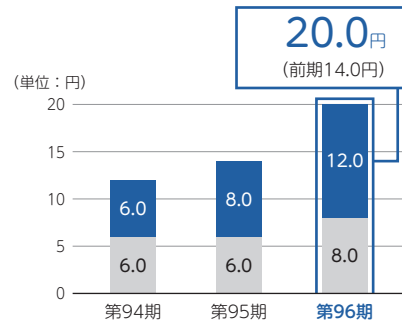
連結決算ハイライト



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



配当金の推移



主要連結財務データ

| | 第93期 2014年3月 | 第94期 2015年3月 | 第95期 2016年3月 | 第96期 2017年3月 |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上高 | 126,783 | 138,727 | 144,451 | 136,657 |
| 営業利益 | 4,449 | 2,521 | 5,385 | 6,912 |
| 経常利益 | 4,012 | 1,622 | 4,077 | 6,256 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 6,272 | 1,054 | 3,062 | 4,992 |
| 1株当たり当期純利益 | 287.10 | 40.85 | 118.50 | 193.15 |
| 総資産 | 137,233 | 148,831 | 141,694 | 136,928 |
| 純資産 | 54,592 | 62,103 | 61,460 | 64,778 |
| 1株当たり純資産 | 2,110.89 | 2,400.55 | 2,372.85 | 2,500.02 |
| 年間配当 | 14.0 | 12.0 | 14.0 | 20.0 |

期末決算のポイント

売上高1,366億円(前期比5.4%減)、営業利益69億円(前期比28.4%増)

【売上動向】

- 日本の北米市場向けを中心とした自動車輸出の好調維持、中国の小型車減税の効果等により受注量は増加しました。
- 円高基調の為替影響やアルミ地金市況の下落の影響で、売上は減少しました。

【利益動向】

- メキシコ工場の生産性改善、中国における増産効果等により増益となりました。

■ 来期の見通し

【売上】 連結売上高予想 1,420億円

- ダイカスト日本、アジアの受注は増加の計画としています。
- メキシコで受注増加が見込まれていますが、アメリカは受注減少が見込まれ、ダイカスト北米の受注は減少の計画としています。
- 為替レートは、110.0円/米ドル、16.0円/元、1.6円/ルピーを前提としております。

【利益】 連結営業利益 70億円 横ばいの予想

- 原価低減活動等により87百万円の増加を見込んでいます。

■ (ご参考) 中期経営方針

10年ビジョン

信頼を究めよう 2025

ありがたい姿

- お客様からの信頼No.1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億+α

1618中期経営方針

大型高難易度製品の顧客 評価No.1を実現する

ものづくり を究める

生きいきと活動 する会社を築く

収益力 を高める

リスク管理 を徹底する

1618中期経営方針 経営目標値

売上高 **1,500** 億円

売上高営業利益率 **5.5%**

総資産当期純利益率 (ROA) **3.0%**

自己資本当期純利益率 (ROE) **7.0%**

当社IRサイトで決算説明会の資料を掲載しています

機関投資家向けに2017年5月30日に開催した、決算説明会の説明会資料、参考資料などを掲載しております。本冊子と併せてご参照ください。

株主・投資家情報

↓

IR資料

↓

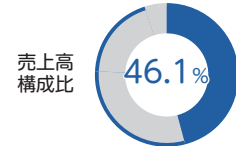
「決算説明資料」

<http://www.ahresty.co.jp/ir/irreport/irreport05>

事業別の概況

ダイカスト事業

日本

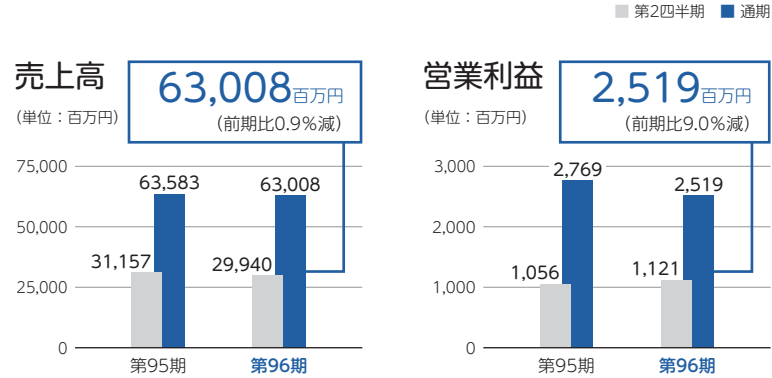


売上高

- ・北米向け輸出好調による受注増加
- ・アルミ地金市況下落の影響による売上減少

営業利益

- ・減価償却費及び労務費の増加等による減益



北米

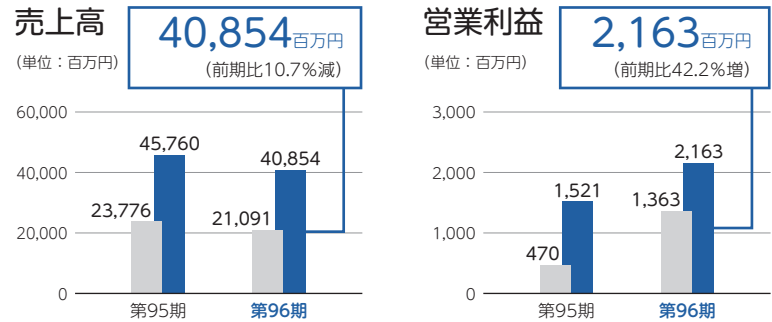


売上高

- ・ライトトラック系部品の受注増加
- ・一部顧客の生産終了に伴う受注減少
- ・アルミ地金市況下落及び為替の影響による売上減少

営業利益

- ・メキシコ工場の生産性改善による増益



アジア

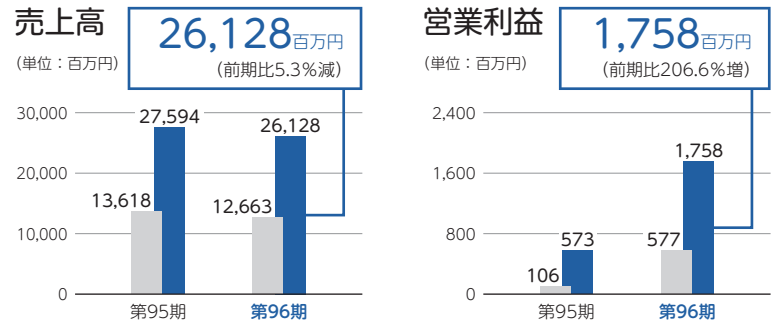


売上高

- ・中国の小型車減税効果による受注増加
- ・インドのディーゼル車離れによる受注減少
- ・アルミ地金市況下落及び為替の影響による売上減少

営業利益

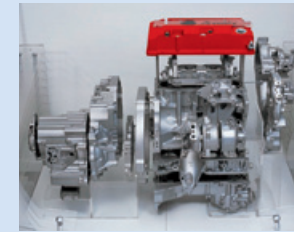
- ・中国における増産による増益



Operating Results by Segment

ダイカスト事業

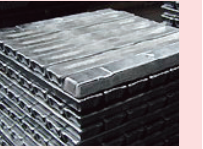
70年以上のたゆまぬ研究開発で育んできた高い技術により、自動車のエンジン、トランスミッションなどを中心に様々なダイカスト製品を製造・販売しています。



ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鑄肌が美しいことです。その特徴を活かし、複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

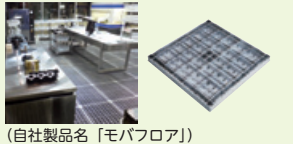
アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど多様な原料をもとに、厳しい管理のもと、品質の優れたアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



完成品事業

フリーアクセスフロア（配線・配管を床下に収める2重床システム）のアルミニウムダイカスト製フロアパネルを製造・販売しています。



アルミニウム事業

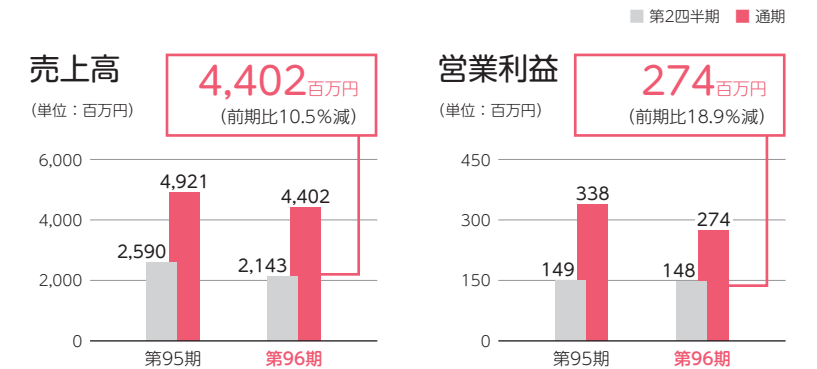


売上高

- ・アルミ地金市況変動による販売価格下落の結果、売上減少

営業利益

- ・アルミ地金市況の下落による減益
- ・原価低減活動による生産性改善



完成品事業

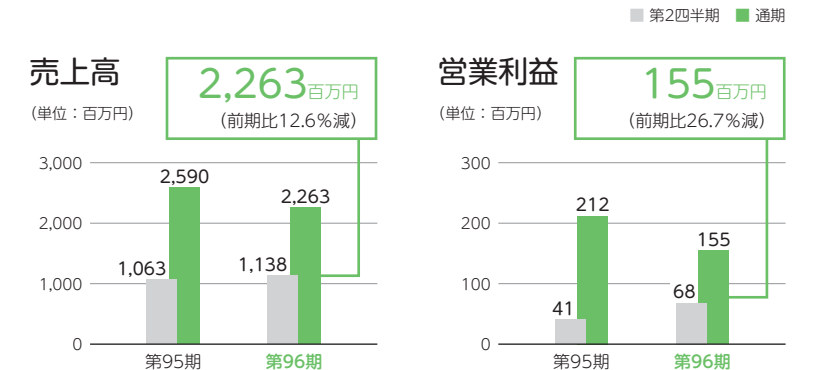


売上高

- ・受注は堅調に推移
- ・前期に比べ受注減少による売上減少

営業利益

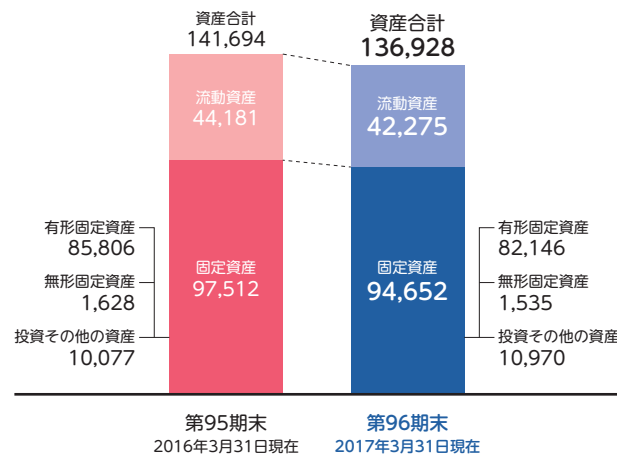
- ・前期に比べ販売量減少による減益



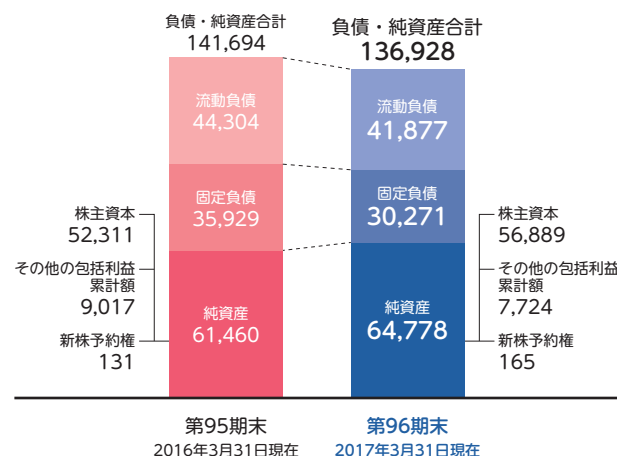
連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

資産の部 (単位: 百万円)



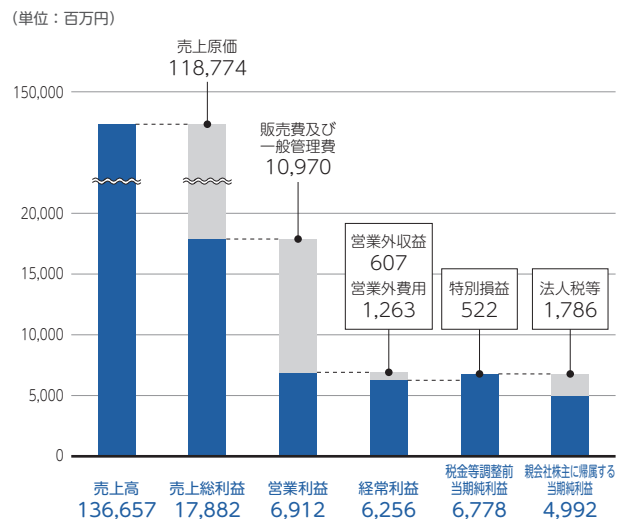
負債・純資産の部 (単位: 百万円)



Consolidated Financial Report

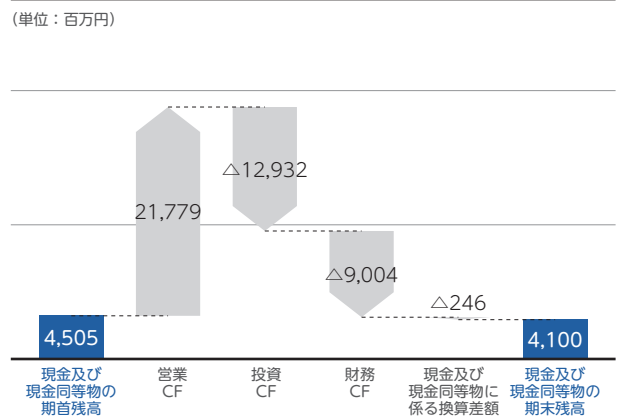
連結損益計算書の概要

第96期 2016年4月1日から2017年3月31日まで



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

第96期 2016年4月1日から2017年3月31日まで

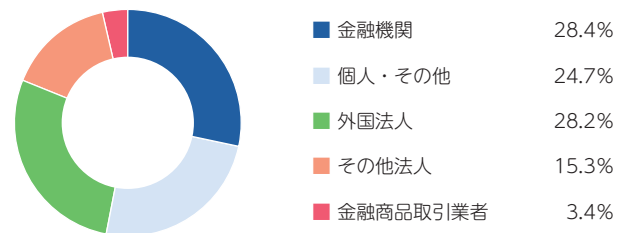


株式の状況

株式数及び株主数 (2017年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 26,027,720株 |
| 株主数 | 4,044名 |

所有者別株式分布状況



株主メモ

| | |
|--------------|--|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料) |
| 同連絡先 | 東京証券取引所 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ahresty.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。) |

お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Stock Information

大株主（上位11名）

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 1,489 | 5.7 |
| 高橋 新 | 915 | 3.5 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 896 | 3.4 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9) | 893 | 3.4 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 669 | 2.5 |
| 日本軽金属株式会社 | 657 | 2.5 |
| CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW | 635 | 2.4 |
| アーレスティ取引先持株会 | 585 | 2.2 |
| スズキ株式会社 | 565 | 2.1 |
| 株式会社みずほ銀行 | 544 | 2.1 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 544 | 2.1 |

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式（182,502株）を控除して計算しております。

ホームページのご案内

当社ホームページをリニューアルしました。
「株主・投資家情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。併せてご覧ください。



トップページ

「株主・投資家情報」ページ

<http://www.ahresty.co.jp>

アーレスティ メヒカーナ

～10周年を迎えて～

メヒカーナの歩み

2006年6月、米国・ウイルミントン、中国・広州に次いで3番目の海外拠点として、メキシコ・サカテカスに「アーレスティメヒカーナ」を設立。2007年秋より稼働開始しました。アーレスティに期待される高品質な製品を安定供給し続けるため、北米市場を支える生産拠点として、アーレスティメヒカーナは現在も力強く発展を続けています。



Ahresty Mexicana, S.A. de C.V. 基本情報

- ・設立：2006年6月
- ・事業内容：ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付
・ダイカスト製品用金型製作
- ・月産能力：2,600tons
- ・敷地面積：100,000㎡
- ・住所：Calle Industria Automotriz #20
Complejo de Naves Industriales la Zacatecana
Guadalupe, Zacatecas C.P.98600, Mexico

10周年式典の開催

アーレスティメヒカーナの創立10周年を記念し、2016年6月4日、現地にて10周年式典を開催しました。現地社員だけでなく、取引先、自動車メーカーをはじめ、州知事や市長、多数のご来賓にご出席頂き、大変盛大な式典となりました。10年という歴史を振り返ると共に、11年目の新たな一歩を踏み出しました。





Corporate Information

会社概要

(2017年3月31日現在)

| | | |
|-------------|-------------|--------|
| 商号 | 株式会社 アーレスティ | |
| 設立 | 1943年11月2日 | |
| 資本金 | 69億3,909万円 | |
| 従業員数 (単独) | 919名 | |
| 企業集団の従業員の状況 | 従業員数 | |
| | ダイカスト事業日本 | 2,191名 |
| | ダイカスト事業北米 | 2,812名 |
| | ダイカスト事業アジア | 2,060名 |
| | アルミニウム事業 | 50名 |
| | 完成品事業 | 28名 |
| | 全社 (共通) | 74名 |
| | 計 | 7,215名 |

取締役

(2017年6月15日現在)

| | |
|---------------|--------|
| 代表取締役社長 | 高橋 新 |
| 取締役 | 蒲生 新市 |
| 取締役 | 金田 尚之 |
| 取締役 | 伊藤 純二 |
| 取締役 | 高橋 新一 |
| 取締役 | 野中 賢一 |
| 取締役 (監査等委員) | 石丸 博 |
| 社外取締役 (監査等委員) | 早乙女 唯夫 |
| 社外取締役 (監査等委員) | 志藤 昭彦 |
| 社外取締役 (監査等委員) | 浜村 承三 |
| 社外取締役 (監査等委員) | 塩澤 修平 |



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。